

# 中部地区 公民館だより

## 第148号

令和5年6月6日発行  
上山市中部地区公民館  
上山市十日町4番11号  
TEL 673-2588  
FAX 673-0379

### キラキラの笑顔がいっぱい

5月14日(日)、上山市生涯学習センターグラウンドを会場に、中部地区管内子ども会育成会対象の危険・予知・トレーニング(KYT)の学習とキックベースボール講習が行われました。地域づくり推進員の佐々木壽さんから、ルールの説明とボールの蹴り方などを指導していただきました。参加した子ども達は、年齢に幅があり大丈夫かなと心配されましたが、高学年の子どもが低学年の子どもの面倒を見てくれて、ボール遊び感覚で楽しむことができました。保護者の参加も多く、特にお父さん方には各塁に入ってもらい要所で補助していただきました。保護者、事業協力員の方に見守られ、「地域の子どもは地域の大人が関わり育てる、有意義な事業になりました。



ボールを蹴ってみよう



ボールと仲良く  
なるために実践



### 事業の前に安全確認

キックベースボール講習に先立ち、子ども達の活動を安全に行うために、危険・予知・トレーニング(KYT)の学習を行いました。イラストを見て危険と思う所を発見し、子ども達と大人が活発に意見を発表しあいました。始業前の安全確認と危険に気づくことの大切さを再確認できました。



KYTの学習

# スマホ教室①

5月18日(木)、スマホ教室(1回目)が開催されました。中部地区公民館の佐々木 壽地域づくり推進員を講師に迎え、初心者向けに、基本操作、用語解説、アプリインストール方法、ニセサイトなどの注意事項について学びました。

その後、質問コーナーでは、検索方法、QRコード読み取り方法、花の種類の調べ方などの説明を受けました。

「スマホの使い方がすこし理解できました」、「知りたいことが3つありましたが、わかり満足です」「レベル別にやってもらいたい」などの感想が寄せられました。



## はこべの会 開級式と第1回学習会

5月24日(水)、令和5年度はこべの会(高齢者教室)の開級式と第1回学習会が開催されました。

開級式では高齢者教室の令和5年度の事業、サロン、収支予算などの説明を行いました。

学習会は上山警察署交通課、田中さんと齋藤さんから高齢者の交通安全と題して、いろいろな天候条件の中での横断歩道を渡る疑似体験を行いました。体験している人以外からは、「あぶない。(車が)きた〜。」「はやぐ〜、ぶつかる〜」など叫びに近い声が聞こえてきました。無事に横断歩道を渡りきることができると拍手がおこりました。

大事なのは①用事は明るい時間にすませる②横断歩道を渡る この2点を守り、自分の身の安全を考えましょう。ということでした。

とてもわかりやすく、楽しい学習会でした。



上山警察署 交通課  
田中さん



齋藤さん

「わたり上手君」  
を使用してシミュレーション中



## 参加者募集

参加申込はすべて6月8日(木)、午前9時から受付します。

## グラウンド・ゴルフ大会

日 時	6月19日(月) 午前8時30分 受付開始 午前8時50分 開会式 午前9時10分 競技開始
場 所	生涯学習センター グラウンド(雨天時はピロティ)
講 師	上山市グラウンド・ゴルフ協会会長 大澤 久雄さん
対 象	中部地区在住の方
参 加 料	無料
申 込 締 切	6月12日(月)
持 ち 物	帽子、タオル、必要な方は飲み物
そ の 他	動きやすい服装でご参加ください 用具をお持ちでない方は公民館で準備します

健康ポイント対象事業 20P 付与



# 参加者募集

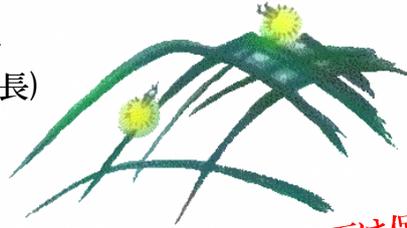
参加申込はすべて6月8日(木)、午前9時から  
受付します。

## 街歩きウォーキング② ホテル観賞

初夏にしか見られないホテルたちの幻想的な姿を観にいきませんか？

日 時 7月1日(土)  
午後6時50分集合  
集合場所 中部地区公民館ギャラリー  
講 師 牧野義文さん(西山地区会長)  
対 象 中部地区在住の方  
募集人数 20人程度  
参加料 無料  
持ち物 懐中電灯、必要な方は飲み物  
その他 散策しやすい服装、履物

健康ポイント対象事業 20P 付与



中学生以下は保護者同伴での参加を  
お願いします。

## モルック講習

「モルック」とは、フィンランドの伝統的なゲームを元に、Tuoterengas 社によって1966年に開  
発され、子どもも大人も、また老若男女も楽しめるスポーツです。

母国フィンランドでは、ビールを楽しみながらプレーする気軽で魅力的なスポーツです。

日 時 7月7日(金)  
午前10時から11時30分  
場 所 中部地区公民館 多目的ホール  
講 師 かみのやまスポーツクラブ 齋藤武司さん  
対 象 中部地区在住の方  
募集人数 20人(定員になり次第締切ります)  
申込締切 6月28日(水)  
参加料 無料  
持ち物 タオル、内履き、必要な方は飲み物

健康ポイント対象事業 20P 付与



## 6月の予定

7日(水)防災講座  
9日(金)職員研修  
(午後から職員は留守になります)  
15日(木)上山城周辺掃除  
19日(月)グラウンド・ゴルフ大会  
21日(水)はこべの会サロン  
29日(木)はこべの会 一日研修  
30日(金)はこべの会 一日研修

## 6月 はこべの会 サロン

日 時 6月21日(水)午前10時から  
場 所 中部地区公民館  
内 容 炊き込み豆ごはんの集い  
会 費 300円  
申込締切 6月15日(木)  
準備の都合上、キャンセルは6月19日(月)  
まで連絡してください。

## 6月の百歳体操

1日、8日、15日、22日  
29日です。



## 藤井松平氏シリーズ2. 「藤井松平長恒侯」長恒<sup>ながつね</sup>という殿様

『藤井御傳記』に「安永八（1779）年3月20日、長恒侯卒去したまふ。御<sup>よ</sup>齡<sup>ね</sup>64歳、御法諡影現院殿心嘗想月忠厳大居士（長恒）、上の山浄光寺に御葬送なり」とあります。しかし、後述があって「この君実は、享保十三（1728）年10月4日御年13歳にて失せたまひし」と続くのです。「深く秘して公にはこれを病氣と披露し、御家臣稲村市太夫季規の子を密かに入れ君の御代に代へ奉」ったというのです。その名を「御新丸と称し、法号瑞隆院殿灌嘗澄水玉山大居士（稲村季規の子）と申すは則ちこれなり。当時は此の類い他の諸侯にもままありといふ。これは幕府の制として嗣子なければその家断絶すべき掟なりければ、かくは計らひしものなり。かかること今ここに書かせつるは情けに忍びず、いと忌まわしき事にあれどこれを詳悉せされば後の世その実を知る由なければ、謹んで記しはべりぬ」と趣意を記しています。

まるで諺にもなった戦国期の筒井順慶の「元<sup>もと</sup>の木阿弥<sup>もくあみ</sup>」と同じ替え玉、影武者事件の上山版です。「元の木阿弥」事件とは、戦国時代の武将筒井順昭が病になった時に、自らの死を隠すため子の順慶が成人するまで声の似ていた盲琵琶法師木阿弥を寝所に寝かせて外来者を欺き、順慶が成人すると父順昭の喪を公表して御家断絶を防ぎ木阿弥はもとの市井の僧にもどったという日本の故事です。更に有名なものは『三国志』の蜀の劉備元徳の軍師諸葛孔明の事件でしょう。三国時代、蜀と魏の五丈原の戦いの最中に蜀の軍師孔明は、魏の曹操の将軍司馬仲達と戦っていましたが、孔明は病に自らの命運わずかなのを知って策を講じました。自らの死が知れると蜀軍は壊滅する、そこで知謀に長けた孔明は死を秘し撤退する策にでました。孔明は生きていと思わせて仲達を怖れさせたのです。これが「死せる孔明、生ける仲達を走らす」という故事を生みました。優秀な軍師孔明を擁した蜀は天下を取ることはかないませんでした。

（余談ですが、初秋に梨を食べるとき正岡子規「梨むくや孔明死せる三国志」の句をいつも思い起こします）。

閑話休題。戦国時代は武将は知略を尽くして生き延びる算段を図りました。徳川幕府は幕藩体制維持のために「武家諸法度」を制定し、平和体制維持のためですがそれは諸藩を縛り大名当主の死去に際し末期に養子をとることは禁じられたのです。末期養子の年齢は17才以上で將軍家に事前に養子届出をし家督相続が認められる必要がありました。恩顧の譜代大名であった藤井松平氏信通の次男長恒はこの条件を満たすことができないので深く秘し身代わりを立てて御家存続にでたものと推察されます。御目見以上の大名家では將軍との謁見を済ませておくことも必要とされ、長恒は將軍への御目見得もありませんでした。後代には叙位なし無冠の「勘九郎」、藤井松平家嫡流八代、上山二代として記録されているのみです。

この長恒時代の享保十六（1731）年に、今のご時世の“コロナ禍流行”と同じく“はしか”が大流行しました。「日本国中“はしか”はやり、小兒は申すに及ばず大人・老人までのっぴきなしに発病し、先年宝永五（1708）年よりはしかが流行、さらに今年まで22、3年間続いてはしかが流行した。前年暮れの天変空焼けはこの前ぶれなるべし」と日記に書きとどめられています。天変地異を事とする書き手の思いも込められているようです。



直筆証明としての長恒の花押（サイン）

※参照文献：「上山市史」、「藤井御傳記」①、「上山年代略記」②、「上山三家見聞日記」⑦、「上山見聞隨筆」⑩などを参照しました。